

全老連

2019. **10** 第468号



各地の活動から



一人暮らし 食事会

香川県坂出市
おうち
王越老人クラブ連合会

一人暮らしの高齢者は、外出する回数が減り、人と会話することが少なくなり、家に閉じこもりがちな生活を送ってしまいます。そこで、食事会を通じて同世代の高齢者が会話を楽しみ、顔見知りを増やして外出するきっかけをつくろうと、毎年10月に地区集会所で開催しています。担当は「一人暮らし食事会事業運営委員会」(10人)です。対象者を調査して案内状を届け、有志による芸能発表の準備を行います。当日の食事は手作りです。

昨年度は事情により3月に開催しました。63人の一人暮らしの内、40人が参加。終了後「日頃会うことがない友人と会って話をする事ができて非常に嬉しかった」との感想をいただきました。活動は、一人暮らしの高齢者の見守りにもつなげています。

地域を豊かにする社会活動

～2019 活動賞受賞団体の活動から

全老連では、毎年、他の範となるような活動を行っている単位クラブ及び連合会に対して、「活動賞」を贈呈しています。

今年度の受賞団体は 119 団体。組織別には、単位老人クラブ 75 団体、地区老連 29 団体、市区町村老連 15 団体が受賞しました。（受賞団体の名簿は 4 頁に掲載）

月刊「全老連」では、2 回にわたり受賞団体の活動を紹介します。本号では、世代交流やリサイクル、環境美化、友愛活動といった「地域を豊かにする社会活動」を紹介します。なお、本号の「表紙」「北から南から」も活動賞受賞団体の活動です。

■小学生といっしょに自然環境の保護

（世代交流活動）

—— 栃木県矢板市塩田親和会

（44 名 大島正弘会長）



「湧水の里～生き物マップ」を作成

小学生と自然に触れながら地域の自然環境について考えることを目的に、子ども会育成会等と連携して美化活動と生き物調査活動に取り組んでいます。子ども達といっしょに地域を歩き、観察結果として「湧水の里～生き物マップ」を作成して公民館に展示しました。他にも、小学生と焼き芋会やペタンク交流を行ったり、小学校の緑化ボランティアとして草刈りや除草を行っています。

■資源回収の収益で遊具を寄贈（リサイクル活動）

—— 千葉県緑区鎌取町長寿会

（39 名 大土正照会長）

地域に密着した活動に取り組もうと、15 年から毎月、第 3 水曜日に町内約 250 軒の家庭を車で回り、古紙、段ボール、古着等の資源を収集して市の指定業者に引き渡しています。活動によって得た収益金で、毎年、地元小学校に遊具等の備品を寄贈しています。活動に参加している会員は毎回 20 人前後、取り組み当初は、地域の協力



回収物をみんなで仕分け

がなかなか得られず大変でしたが、今では、手伝ってくれる近隣の住民も増えてきました。さらに、子どもたちが公園を楽しく安全に利用できるように、清掃や花壇の手入れに加えて、遊具や砂場の点検なども行っています。

■市内最初の地域交流カフェ（友愛活動）

——大阪府泉佐野市佐野台長生会
(500名 岡野秋喜会長)

平成26年度に地域包括支援センター（市社協）の協力を受けて、認知症予防や健康増進を目的にした「佐野台いこいのカフェ」を始めました。以来、毎月開催しています。予約なしで誰でも参加でき、100円でお茶やコーヒー、ジュースを飲むことができます。カフェでは、健康体操やゲームをしたり、童謡を歌ったり、多彩なレクリエーションを行っています。活動を継続することで、多くの方が参加するようになり、市内に地域交流カフェが広がるモデル的な存在になっています。



いつも賑やかなカフェ



七夕飾りで賑やかになる駅舎

■駅を彩る七夕飾りとクリスマスツリー

(地域貢献活動)

——高知県 佐川町老人クラブ連合会
(24クラブ・545名 坂本貞雄会長)

地域の方々に喜んでもらおうと、10年以上にわたり、町内にあるJRの三つの駅（斗賀野駅、佐川駅、加茂駅）に七夕飾りとクリスマスツリーを設置しています。飾り物は、サロン活動で作製したり、会員が趣味で作製した物を提供したり、さらにみんなで集まって折り紙を折っています。女性部主催の活動ですが、男性会員が笹竹を山から切り出してくれるなど、たくさんの会員が参加しています。飾り付けには、地元の保育園児にも手伝ってもらい、大勢の人に喜んでもらえることで、会員の生きがいづくりにつながっています。

2019 年「活動賞」受賞団体

北海道	岩見沢市老人クラブ連合会
北海道	釧路町老人クラブ連合会
北海道	千歳市老人クラブ連合会
札幌市厚別区	小野幌クラブ
札幌市南区	北ノ沢和朗会
岩手県盛岡市	チェリーサークル
岩手県遠野市	鮎貝老人クラブ
岩手県八幡平市	下町老人クラブ
秋田県上小阿仁村	沖田面地区老人クラブ
秋田県八峰町	畑谷第二老人クラブ
福島県	古殿町老人クラブ連合会
茨城県土浦市	天川ふれあい円クラブ
茨城県ひたちなか市	津田第二寿会
茨城県阿見町	まほろばいきいき同好会連絡協議会
栃木県矢板市	塩田親和会
群馬県前橋市	下川町緑寿会
群馬県	渋川市老人クラブ連合会赤城支部
群馬県安中市	秋間松寿会連合会
埼玉県	川越市老人クラブ連合会高階支部
埼玉県上尾市	栄町いきいきクラブ
埼玉県	小鹿野町老人クラブ連合会
千葉県八千代市	緑が丘長寿会
千葉市緑区	鎌取町長寿会
東京都立川市	エステート一番親和会
東京都世田谷区	玉川福寿会
東京都青梅市	下師岡長寿会
神奈川県茅ヶ崎市	パークタウン茅ヶ崎シニアクラブ
横浜市内南区	南永田ひまわりクラブ
横浜市内都筑区	見睦会
横浜市	金沢区シニアクラブ連合会
新潟県上越市	平山達者クラブ
新潟市内南区	みずほクラブ
新潟市内北区	柳原楊柳会
富山県富山市	呉羽苑長寿会
石川県志賀町	酒見地区老人クラブ
福井県あわら市	波松第1南・第2北老人会
福井県坂井市	恵比須友愛クラブ
山梨県昭和町	河東中島区いきがいクラブ
山梨県昭和町	築地新居区いきがいクラブ
山梨県昭和町	上河東区いきがいクラブ
長野県安曇野市	ひといちばシニアクラブ
長野県坂城町	新地ひまわり会
長野県	小諸市高齢者クラブ連合会
岐阜県岐阜市	犬塚寿会
岐阜県大垣市	日新第二楽生会
岐阜県養老町	日吉西部地域老人クラブ
静岡県下田市	大賀茂老人クラブ
静岡県菊川市	平成会
愛知県南知多町	内海倅クラブ
愛知県豊田市	川田伯楽クラブ
愛知県東浦町	森岡老人クラブ寿会
名古屋市中村区	ふれあいクラブ鈍池
名古屋市中区	松原学区老人クラブ連合会
名古屋市昭和区	川原学区老人クラブ連合会
三重県	朝日町老人クラブ連合会
滋賀県栗東市	蜂屋老人クラブ
滋賀県甲良町	尼子老人クラブ喜楽会
京都府宮津市	今福福寿会
京都市南区	上鳥羽末広会連合会
大阪府交野市	倉治老人クラブさんゆう会

大阪府東大阪市	森河内長生クラブ連合会
大阪府泉佐野市	佐野台長生会
大阪市内野区	北鶴橋すこやかクラブ
大阪市東淀川区	大道南老人クラブ連合会
大阪市都島区	高倉老人クラブ連合会
兵庫県猪名川町	松尾台老人クラブみどり会
兵庫県	丹波市老人クラブ連合会春日支部
神戸市兵庫区	西出町菜の花クラブ
神戸市垂水区	多聞台ときわ会
神戸市西区	北山あけぼの会
奈良県	生駒市老人クラブ連合会
奈良県桜井市	朝倉台盛春クラブ
奈良県三郷町	東信貴ヶ丘福寿会
和歌山県岩出市	上岩出地区老人クラブ
島根県浜田市	美又寿会
島根県奥出雲町	鳥上むらくも会日向側支部
島根県松江市	お達者クラブ
岡山県高梁市	備中地域老人クラブ
岡山県和気町	大田原明友会
岡山県	津山市老人クラブ連合会城東地区
岡山市北区	田益桃寿会
岡山市南区	せのおニューシティはなみずきの会
岡山市南区	錦南長寿会
広島県府中市	三郎丸福寿会
広島市内東区	中山学区老人クラブ連合会
広島市内安佐南区	長束長寿会連合会
広島市内佐伯区	シニアクラブ倉重友和会
山口県下関市	下村真和会
山口県周南市	夜市楽園会
山口県山口市	仁保地区老人クラブ連合会
徳島県三好市	池南六寿会
香川県坂出市	王越老人クラブ連合会
香川県高松市	亀阜益社会
高知県	宿毛市老人クラブ連合会
高知県	いの町老人クラブ連合会女性部
高知県	佐川町老人クラブ連合会
福岡県八女市	緒玉老人クラブ 華玉会
福岡県小郡市	三国校区老人クラブ連合会
福岡県鞍手町	弥生若生会
北九州市八幡西区	浅川第二地区老人クラブ連合会
北九州市八幡東区	前田1地区老人クラブ連合会
北九州市若松区	赤崎校区老人クラブ連合会
福岡市内中央区	春吉校区老人クラブ連合会
福岡市内中央区	舞鶴校区老人クラブ連合会
福岡市内早良区	野芥校区老人クラブ連合会
長崎県松浦市	今福町長寿会連合会
長崎県松浦市	里不老会
長崎県	対馬市老人クラブ連合会豊玉支部
熊本県和水町	内田老人クラブ
大分県大分市	鶴崎ことぶき会第3部会
大分県	臼杵市老人クラブ連合会
大分県	九重町老人クラブ連合会
宮崎県日南市	大堂津上高齢者クラブ渚会
鹿児島県阿久根市	高之口老人クラブ
鹿児島県龍郷町	中勝老人クラブ若返り会
鹿児島県鹿児島市	田上団地充実クラブ
沖縄県	読谷村老人クラブ連合会
沖縄県金武町	伊芸区老人クラブ
沖縄県西原町	小波津団地つつじ会

北から南から

会員みんなで取り組む サロン活動

秋田県八峰町 畑谷第2老人クラブ ●会員数 52 名

町の事業指定を受けてメニューの拡大

高齢者のうつ病や自殺予防を目的に、自治会や民生委員、社会福祉協議会と連携して、平成 22 年 8 月に畑谷老人クラブで交流サロンを開設しました。「気軽に・無理なく・楽しく」集まれるようにと、75 歳以上のひとり暮らしの方や日中ひとりの方、閉じこもりがちな方を対象に、友愛活動の一環として月 1 回開催していました。

平成 28 年 10 月から町の総合事業（新地域支援事業）の通所型サービス B 事業のモデル指定を受けて、翌年からは月 2 回（午後 1 時～3 時 30 分）の開催となりました。現在は対象者は限定せず、地域住民なら誰でも受け入れていますが、特に、閉じこもりがちな高齢者に参加を呼びかけるように心がけています。プログラムでは、健康長寿を目指すために、介護予防・認知症予防のメニューも増やして取り組んでいます。



「いきいき百歳体操」を毎回実施

欠席者に友愛訪問

サロンの運営について、会場の設営、参加費（100 円）の集金などは、老人クラブの役員が協力し合い交替で行っています。また、プログラムについても、参加者の意見をもとに総会で話し合い、大まかな計画を立てて臨機応変に対応し、新規メニューの開拓にも積極的に取り組んでいます。花見やクリスマスなど季節のイベントも喜ばれますが、基本メニューとして毎回実施している「いきいき百歳体操」が好評です。参加者の中には、毎回趣向を凝らした内容や活動を楽しみに参加しているとの声も聞かれます。

参加人数は 10 ～ 16 名程度。開催曜日を決めているので毎回案内はしていませんが、会員が集まる機会を利用してお誘いしています。また、サロンを欠席した方には、友愛活動の一環として様子を伺いに訪問したり、次回の参加を促したりしています。

サロン活動は、当時は先駆的な取り組みとして注目されましたが、今では町内で 11 のクラブ（把握できている数）が取り組んでいます。発足時よりサロンの代表を務めるリーダーは、一番嬉しかったことは、「サロンに参加すると、仲間との笑いがあり、思わず顔がニコニコする」と言われたことだと言っています。

（八峰町老連事務局）



歌唱（くちの体操）（上）、割り箸書画体験（下）

北から南から

笑顔あふれる 多世代ふれあい子ども食堂

大分県大分市 鶴崎ことぶき会第3部会 ●会員数 39 名

働くお母さんを食で応援

平成 26 年、地域の仲間と子ども達を対象にカヌー体験教室を開催したところ、終了後も家に帰ろうとしない子ども達がありました。理由を聞くと、「家に昼食がない」との返事でした。「それなら…」とカレーを作って提供していたところ、平成 29 年度、大分市から働くお母さん達の支援として『多世代ふれあい子ども食堂』を作って夕飯を提供してほしい」と依頼されました。

こうして毎週金曜日（月 4 回）午後 5 時から 8 時まで、食堂を開催することになりました。会場は、会員に小学校に隣接する借家を提供してもらい、老人クラブが第 2、第 4 金曜日を担当することになりました。食事のメニューは 2 種類（カレーライスとハヤシライス）、会員スタッフ 13 名が 3 名交替で作っています。地域の人からも米や野菜の差し入れをいただいています。

高校生もボランティアとして参加

食堂に来る子どもは小学 2 年生から 6 年生まで約 30 名です。会場の関係で 2 班に分けて、月 2

回の利用にしております。

食堂に来たらずは勉強です。昨年、子どもの学習支援や遊び相手になってもらおうと、隣接する大分鶴崎高校にボランティアを呼びかけたところ、

多数の応募があり 5 名ずつ派遣してもらうようになり、活動も充実してきました。小学生、高校生、高齢者、大勢で食べる食事はいつも賑やかで、雰囲気につられておかわりをする子どもがたくさんいます。そして夜 8 時、家族が迎えに来て子ども達を引き渡したら食堂は終了です。

活動を通じて、子ども達は、知らなかった昔遊びを

会員に教えてもらったり、身近に高校生のお兄さんお姉さんができて喜んでいます。家族からもたくさん感謝の声をいただいています。一方、会員も活動に参加する喜びを感じ、活動が生きがいになっています。

食堂に通っている間に、食事の前に毎回唱和している宮沢賢治の「雨にも負けず」を暗唱できるようになった小学生もいます。この秋からは高校生に環境問題について、1 分間スピーチをしてもらおうと考えています。

（会長 安部 泰史）



月に 4 回の食堂運営



高校生がボランティアとして参加



いちようだより

令和元年度 ブロック研修会開催

—全国7ブロックで2,000人が参加

市区町村老連のリーダーを対象とする「ブロックリーダー研修会」が、今年も全国7ブロックで開催され、1,917名が参加しました。研修内容は、全国老人クラブ連合会より会員増強運動の暫定実績を踏まえて、「5か年の会員増強運動と今後の方向」についての基調報告、そして、ブロックごとに選んだ活動テーマによる分科会やパネルディスカッション、講演が行われました。女性の参加率が44%と最も高い近畿ブロックは、男女共同参画のクラブづくりに向けて5割の参加目標を掲げ、座長や事例発表の役割も男女で分担しています。ここではブロックで発表された活動の一部を紹介します。

●東北ブロック——「サロン活動実施で、5年連続会員増達成」岩手県普代村老人クラブ連合会／5年連続で会員増を達成した要因となったのは、全クラブによるサロン活動の実施とグラウンド・ゴルフ大会などスポーツ活動の実施です。身近に交流の場をつくり、未加入者や若手高齢者に声かけを行いました。

●近畿ブロック——「フレイル予防に向けたリーダー養成と活動展開」神戸市垂水区老人クラブ連合会／みずほ教育福祉財団助成事業を活用して、加齢により心身が老い衰える状態となるフレイル予防を推進するリーダー養成を行いました。リーダーは各クラブで活動を展開。内容は、啓発等の総合活動、体力測定会や運動等の実践による身

体活動、栄養に関する学習、社会参加活動。その数は65回、延べ3,300人が参加しました。

●九州ブロック——「地域の課題解決に向けて新たなクラブづくり」北九州市若松区青葉台地区老人クラブ連合会／新興住宅地特有の急速な少子高齢化問題に地域とともに取り組む中で、高齢者活性化事業として、老人クラブを1クラブから5クラブに拡大、民生委員児童委員協議会との協働事業（バスハイク）の実施、他世代も参加する農園事業、公園づくりに取り組みました。

●参加者数一覧

ブロック名	主催県・市	参加者人数 (女性参加率)
北海道	札幌市	226人(30%)
東北	岩手県	445人(37%)
関東	神奈川県	219人(22%)
東海・北陸	富山県	183人(33%)
近畿	大阪市	257人(44%)
中国・四国	高知県	326人(32%)
九州	北九州市	261人(30%)
計		1,917人(35%)



みんなで「いきいきクラブ体操」(関東ブロック)



2020年、
さすがJAPAN!
って言われたいよね。

私たちはすべての挑戦を応援します。
To Be a Good Company
東京海上日動
東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050



TOKYO 2020
TOKIO MARINE
NICHIDO
東京2020 ゴールドパートナー（損害保険）



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
Tel: 03-3349-3111 <https://www.sjnk.co.jp/>

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上

編集後記

東京都内を放送地域にしているテレビ番組でのこと、「老後の生活で最適な区」をテーマにした話し合いの中で、家賃、交通、病院とともに、「友達がつくりやすい」という項目がありました。指標として使われていたのが、老人クラブ数。出演して

いた若いタレント（男女二人）は、「友だち!」と即答。先日、会員の方が「クラブに入って良かったことは、『〇〇さん』って声かけてくれる人が増えたこと。お店でもどこでも声かけてくれるんだよね」と嬉しそうに言っていました。

（敦）

60周年記念会員章を胸に活動の輪を広げましょう。

全国老人クラブ連合会は、令和4年（2022年）に創立60周年を迎えます。これを記念して「60周年記念会員章」を作製しました。



- 直径 17mm タック式
- 期間限定 2019年～2022年
- 1口 1,000円